2017.12.15

分科会議事メモ（2-2 畜産振興・疾病管理）

【研修分野・内容】

(JICA) 近年では、市場ニーズに合った家畜生産や One Health 推進を重視している。
また、持続性の観点から民間連携も重視している。

(大学) 家禽は最近あまり取り上げられていないようだが、生産効率が良く、小規模農家での飼育が可能であり、、また世界中で食されている点からニーズが高いと思われる。 “栄養”分野が注目されているが、家禽分野も合理的に貢献出来得る。

(JICA) 約 20 年前には家禽分野の支援も一定程度実施していたが、農業分野の新たな課題にも対応する中、協力分野の集中と選択がなされてきた経緯有り。但し、家禽の重要性については今後も留意したい。

【育成する人物像】

(JICA) 研究者から行政官まで幅広く対象としている。

【対象候補国】

(JICA) 資料には、過去の受入れ実績のある国を記載しているが、これらの国以外にも広く受入れを行っている。

【留学人数目安】

(JICA) 各課題別研修(受入れ人数 8 から 12 名)から 1 名ほどＸ5 研修／年間Ｘ10
年間＝50 名ほどを想定している。

【課題別研修－Agri-Net（留学）への取り組み】

(大学) 大学院留学生受入れに関して、大学としては留学生が学位取得に耐え得る学力や能力そして資質を備えているか十分に見極める必要があるが、(留学前のセレクションとしての) 課題別研修については、準備や調整だけでも大変であり、なかなか（そのために）課題別研修を実施する、ということは難しいのが現状である。